

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 5 年 3 月 8 日(2023.3.8)

【公開番号】特開 2023-24640(P2023-24640A)
【公開日】令和 5 年 2 月 16 日(2023.2.16)
【年通号数】公開公報(特許)2023-031
【出願番号】特願 2022-205178(P2022-205178)
【国際特許分類】
A 6 3 F 5/04(2006.01)
【F I】
A 6 3 F 5/04 5 1 1 A

10

【手続補正書】
【提出日】令和 5 年 2 月 28 日(2023.2.28)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

前方に開口部を有する本体部材と、
前記本体部材に対して前記開口部を開閉可能に取り付けられた開閉部材と、
所定の制御チップを表面に実装する主基板と、
前記主基板を視認可能に収容する主基板ケースと、を備え、
前記主基板ケースは、主基板ケース取付機構を介して揺動可能に取付けられるよう構成され
ており、
取り付けられた前記主基板ケースは第一の位置と第二の位置を取り得ることが可能であり
、
前記第一の位置は前記主基板の表面側を視認可能であるが、前記主基板の裏面側を視認不
可能な位置であり、
前記第二の位置は前記主基板の裏面側を視認可能な位置であり、
前記主基板ケース取付機構は少なくとも第 1 ベース部材を含み、
前記第 1 ベース部材は前記主基板ケースより大きく構成され、且つ所定のネジ挿入孔部を
有し、
前記本体部材は所定のネジ穴を有し、
前記所定のネジ挿入孔部には所定の取付ネジが挿通され、前記所定の取付ネジは前記所定
のネジ穴にネジ固定されており、
前記第一の位置は前記主基板ケースの裏面側が前記第 1 ベース部材に近接する位置であり
、
前記第二の位置は前記主基板ケースが前記第 1 ベース部材から離れる方向に所定角度以上
揺動した位置であり、
前記主基板ケースが前記第一の位置に位置する状態では、前記主基板ケースは前記第 1 ベ
ース部材に重なり、前記主基板ケースは前記所定のネジ穴の延長線上に重なり、前記主基
板に実装された前記所定の制御チップは前記所定のネジ穴の延長線上に重ならないこと
を特徴とする遊技機。

30

40

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 5

50

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、主基板に対する不正行為の有無を容易に確認することが可能な遊技機を提供することを目的とする。また、本発明の変更例では、このような課題に鑑みてなされたものであり、簡単な作業で確実にリールユニットを組み立てることが可能な遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

このような目的達成のため、本発明に係る遊技機は、前方に開口部を有する本体部材と、前記本体部材に対して前記開口部を開閉可能に取り付けられた開閉部材と、所定の制御チップを表面に実装する主基板と、前記主基板を視認可能に収容する主基板ケースと、を備え、前記主基板ケースは、主基板ケース取付機構を介して揺動可能に取付けられるよう構成されており、取り付けられた前記主基板ケースは第一の位置と第二の位置を取り得ることが可能であり、前記第一の位置は前記主基板の表面側を視認可能であるが、前記主基板の裏面側を視認不能な位置であり、前記第二の位置は前記主基板の裏面側を視認可能な位置であり、前記主基板ケース取付機構は少なくとも第1ベース部材を含み、前記第1ベース部材は前記主基板ケースより大きく構成され、且つ所定のネジ挿入孔部を有し、前記本体部材は所定のネジ穴を有し、前記所定のネジ挿入孔部には所定の取付ネジが挿通され、前記所定の取付ネジは前記所定のネジ穴にネジ固定されており、前記第一の位置は前記主基板ケースの裏面側が前記第1ベース部材に近接する位置であり、前記第二の位置は前記主基板ケースが前記第1ベース部材から離れる方向に所定角度以上揺動した位置であり、前記主基板ケースが前記第一の位置に位置する状態では、前記主基板ケースは前記第1ベース部材に重なり、前記主基板ケースは前記所定のネジ穴の延長線上に重なり、前記主基板に実装された前記所定の制御チップは前記所定のネジ穴の延長線上に重ならない。

20

また、本発明の変更例に係る（例えば、実施形態におけるスロットマシン1）は、前方に開口部を有する本体部材と、前記本体部材に対して前記開口部を開閉可能に取り付けられた開閉部材と、前記本体部材の内部に収容されたリールユニットと、前記本体部材の内部に設けられ、前記本体部材の内部に収容された前記リールユニットが載置されるリールベースとを備え、前記リールユニットは、外周面上に所定の図柄が描かれた筒状のリールと、前記リールを回転可能に保持するリールブラケットと、前記リールブラケットに取り付けられて前記リールを回転駆動するリールモータと、前記リールブラケットを複数並べて保持して、前記リールベースに載置されるリール収容部（例えば、実施形態におけるリールケース201）とを有し、前記リール収容部は、前記リール収容部の後下部に後方に突出して形成された係合突起部を有し、前記リールベースは、前記リールベースに載置された前記リール収容部の前記係合突起部と係合する係合穴部を有し、前記係合突起部の下側に、前記リールベースの上面と対向する下面部が形成され、前記係合突起部の上側に、前記下面部に対して略平行に前後に延びる平行面部を有した上面部が形成される。

30

40

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明によれば、主基板に対する不正行為の有無を容易に確認することができる。また、本発明の変更例によれば、簡単な作業で確実にリールユニットを組み立てることができる

50

o

10

20

30

40

50